



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

Today's news Flash

自転車競技福岡県勢活躍



梶原選手優勝、靄選手5位、今村選手5位、原井選手7位

本日が最終日となる自転車競技で、梶原大地選手が少年男子スプリント競技に出場し、2-0の成績で見事優勝を果たした。

スプリント競技は、対戦形式で行われ、先に2勝した方が勝利となる。梶原選手は、決勝で和歌山県の選手との対戦となり、1回戦は牽制しあう状況となったが、先に勝負をしかけた梶原選手がそのまま逃げ切り先勝した。続く2回戦でも、同様に勝負をしかけ勝利し、梶原選手の優勝が決まった。

また、成年男子スプリントでは、靄良生選手が5位、成年男子4km速度競走で原井博斗選手が7位、少年男子4km速度競走で今村駿介選手5位とそれぞれ、見事入賞した。

今回優勝した梶原選手は、現在高校2年生で、県が進める福岡県タレント発掘事業の修了生でもある。中学時代は、バレーボール部に所属し、高校から自転車をはじめ、2年間で優勝した。今後の活躍にも期待したい。



山岳競技少年男子リードで初優勝！



山岳競技少年男子リードに、緒方良行・中上大斗組が出場し、本競技で福岡県山岳連盟史上初となる優勝を果たした。山岳競技は、2名のポイント合計が少ない方が勝者となる。決勝に進んだ8チームで、福岡県と栃木県が7ポイントで並んだが、緒方選手が全選手の中で唯一最後まで登り切り、1位であったことから、福岡県が優勝、本命と目されていた栃木を破った。

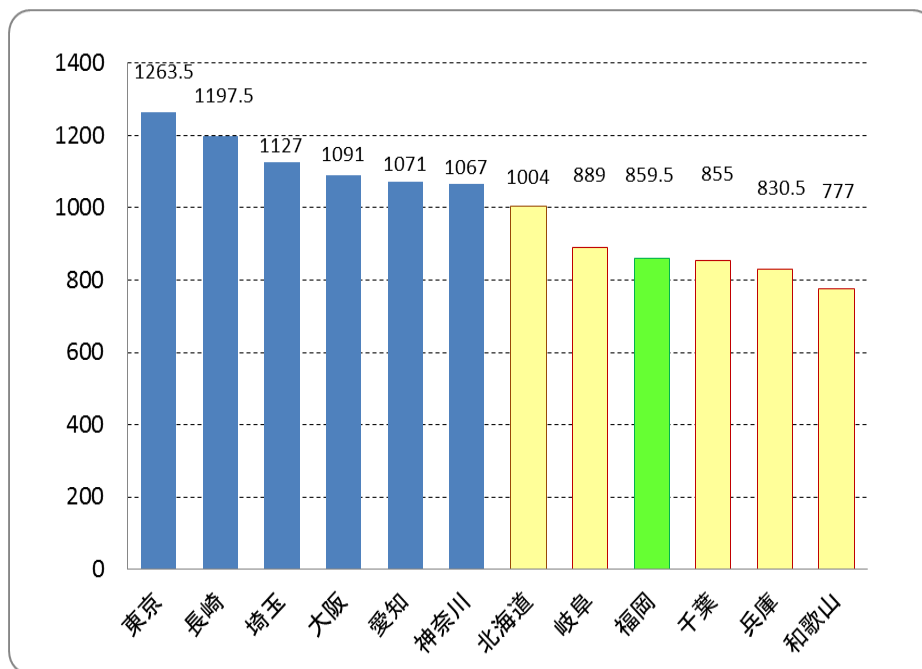
福岡県のペアは、緒方選手が高校2年生、中上選手は中学3年生であるが、日頃から熱心に練習に取り組んだ選手たちと指導者の思いが優勝に結びついた。明日、行われるボルダリング競技にも期待したい。

馬術競技古川芙三子選手5位入賞！

馬術競技が雲仙市特設馬術競技場にて開催された。第3競技成年女子二段階障害飛越競技に出場した古川芙三子選手が、安定した優雅な飛越で5位入賞を果たした。

古川選手は「馬の調子もいいので、次の競技も頑張りたい！」と笑顔で答えてくれた。昨年度は2種目に出場し、2種目ともに入賞を果たしている。皇后杯獲得の立役者に今年も大きな期待が高まる。





男女総合成績上位得点状況

福岡県は、本日104点を獲得し、現時点で859.5点、第9位に位置している。本県の目標である8位以内入賞を達成するためには、1つ順位を上げる必要があり、ライバルとなるのは、本県と僅差で前を行く岐阜県、冬季競技で大きくリードしている北海道である。また、下位ではあるが、来年度開催県の和歌山にも注意を要する。一昨年度開催県で競技力の維持を目標としている岐阜、昨年度は思うように得点できずに不本意な成績となった兵庫、いずれも本年度にかける決意の強さが伺える。

RESULT

山岳競技

〈少年男子〉 リード 優勝 緒方良行・中上大斗

自転車競技

〈成年男子〉 スプリント 5位 靄 良生

4km速度競走 7位 原井博斗

〈少年男子〉 スプリント 優勝 梶原大地

4km速度競走 5位 今村駿介

馬術競技

〈成年男子〉 馬場馬術 8位 高瀬秀平

〈成年女子〉 二段階障害飛越 5位 古川芙三子

〈少年〉 スピードアンドハンディネス 2位 仁田原知毅

国体の情報については、大会ホームページ(下記アドレス)より、御覧ください。

<http://www.nagasaki-kokutai2014.jp/kokutai>

【発信元:公益財団法人福岡県スポーツ振興センター スポーツ振興課 企画情報係】